



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月31日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
 コード番号 2204 URL <https://www.nakamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 鈴木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 鈴木 克司 (TEL) 03-5325-2711
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,101	9.2	△819	—	△707	—	△547	—
2022年3月期第3四半期	22,990	5.6	△995	—	△741	—	△401	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第3四半期	円 銭 △91.70	円 銭 —
2022年3月期第3四半期	円 銭 △67.28	円 銭 —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第3四半期	百万円 46,198	百万円 25,234	% 54.6
2022年3月期	42,143	26,084	61.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 25,234百万円 2022年3月期 26,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2023年3月期(予想)				円 銭 50.00	円 銭 50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	2.8	100	—	220	249.2	180	△22.6	30.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	5,976,205株	2022年3月期	5,976,205株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	15,899株	2022年3月期	15,581株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	5,960,476株	2022年3月期3Q	5,960,769株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における菓子・食品業界は、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が順次緩和され、全国旅行支援の再開などにより、需要の持ち直しが見られたものの、原材料・エネルギー価格の高騰に円安が重なり、物価上昇から購買意欲は低下し、大変厳しい状況が続きました。

当社におきましては、創業120周年を機に策定した新たな理念体系のもと、当年度を初年度とする3ヵ年計画『2022年-2024年 中期経営計画』に基づき、理念体系のビジョンで掲げた「これからの暮らしに溶け込む、喜んでもらえる食を提案する」を実践すべく事業活動を行い、ウィズコロナの下で、新しい消費行動への対応を続けた結果、当第3四半期累計期間の売上高は、25,100,519千円 前年同期に対し2,111,011千円、9.2%の増収となりました。

利益面につきましては、売上増収も、原材料・エネルギー価格の高騰からコスト高となり、営業損失は819,056千円 前年同期に対し175,979千円の改善、経常損失は707,136千円 前年同期に対し34,351千円の改善、四半期純損失は546,590千円 前年同期に対し145,537千円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、建物の減少370,298千円、リース資産の減少233,264千円等がありましたが、売掛金の増加3,033,557千円、原材料及び貯蔵品の増加817,408千円、現金及び預金の増加304,364千円等により、前事業年度末に比べ4,054,864千円増加し、46,197,507千円となりました。

負債は、賞与引当金の減少269,336千円、退職給付引当金の減少263,806千円等がありましたが、短期借入金の増加3,600,000千円、買掛金の増加1,000,258千円等により、前事業年度末に比べ4,905,334千円増加し、20,963,705千円となりました。

純資産は、四半期純損失546,590千円、剰余金の配当298,031千円による利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ850,471千円減少し、25,233,802千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予測につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,187,214	1,491,578
売掛金	4,096,304	7,129,861
商品及び製品	1,557,629	1,785,103
仕掛品	39,236	71,469
原材料及び貯蔵品	1,038,132	1,855,540
その他	495,451	860,261
貸倒引当金	△517	△885
流動資産合計	8,413,448	13,192,927
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,637,862	8,267,565
構築物（純額）	579,671	513,739
機械及び装置（純額）	2,963,141	2,791,223
車両運搬具（純額）	93	23
工具、器具及び備品（純額）	321,935	287,622
土地	13,132,490	13,134,656
リース資産（純額）	1,927,738	1,694,474
建設仮勘定	12,464	87,419
有形固定資産合計	27,575,393	26,776,721
無形固定資産		
その他	211,304	219,406
無形固定資産合計	211,304	219,406
投資その他の資産		
投資有価証券	4,808,902	4,811,407
関係会社株式	536,056	536,056
その他	599,170	662,621
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	5,942,497	6,008,453
固定資産合計	33,729,195	33,004,580
資産合計	42,142,643	46,197,507

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,219,359	2,219,617
短期借入金	5,900,000	9,500,000
リース債務	117,203	105,271
未払金	1,097,327	1,595,428
未払費用	517,118	692,969
未払法人税等	103,516	43,400
賞与引当金	535,047	265,711
その他	161,167	734,806
流動負債合計	9,650,736	15,157,202
固定負債		
リース債務	541,312	468,740
繰延税金負債	2,734,592	2,475,515
退職給付引当金	2,378,204	2,114,398
資産除去債務	261,518	256,057
受入保証金	486,550	486,333
役員退職慰労未払金	5,460	5,460
固定負債合計	6,407,634	5,806,503
負債合計	16,058,371	20,963,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,481,558	6,481,558
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,170,223	8,170,223
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,341,190	3,278,844
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	458,276	△323,999
利益剰余金合計	9,004,398	8,159,777
自己株式	△66,661	△67,655
株主資本合計	24,577,362	23,731,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,506,911	1,502,055
評価・換算差額等合計	1,506,911	1,502,055
純資産合計	26,084,273	25,233,802
負債純資産合計	42,142,643	46,197,507

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	22,989,508	25,100,519
売上原価	15,134,203	16,758,268
売上総利益	7,855,305	8,342,251
販売費及び一般管理費		
販売費	7,219,942	7,403,816
一般管理費	1,630,398	1,757,492
販売費及び一般管理費合計	8,850,341	9,161,308
営業損失(△)	△995,036	△819,056
営業外収益		
受取配当金	67,969	74,325
助成金収入	188,066	37,505
その他	28,404	29,368
営業外収益合計	284,439	141,199
営業外費用		
支払利息	27,601	27,048
その他	3,289	2,230
営業外費用合計	30,890	29,278
経常損失(△)	△741,486	△707,136
特別利益		
固定資産売却益	3,788	—
投資有価証券売却益	218,171	—
固定資産受贈益	85,636	—
特別利益合計	307,595	—
特別損失		
固定資産売却損	2,423	—
固定資産除却損	3,852	937
減損損失	290	77,547
投資有価証券評価損	—	220
本社移転費用	73,188	—
特別損失合計	79,753	78,704
税引前四半期純損失(△)	△513,645	△785,840
法人税、住民税及び事業税	24,449	17,708
法人税等調整額	△137,041	△256,958
法人税等合計	△112,592	△239,250
四半期純損失(△)	△401,053	△546,590

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	16,259,331	6,358,665	—	22,617,996
顧客との契約から生じる収益	16,259,331	6,358,665	—	22,617,996
その他の収益	—	—	371,512	371,512
外部顧客への売上高	16,259,331	6,358,665	371,512	22,989,508
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	16,259,331	6,358,665	371,512	22,989,508
セグメント利益	214,683	316,546	104,133	635,363

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	635,363
全社費用(注)	△1,630,398
四半期損益計算書の営業損失(△)	△995,036

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「菓子事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において290千円であります。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又は サービス	17,917,436	6,819,421	—	24,736,857
顧客との契約から生じる収益	17,917,436	6,819,421	—	24,736,857
その他の収益	—	—	363,662	363,662
外部顧客への売上高	17,917,436	6,819,421	363,662	25,100,519
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	17,917,436	6,819,421	363,662	25,100,519
セグメント利益	604,845	247,655	85,935	938,435

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	938,435
全社費用(注)	△1,757,492
四半期損益計算書の営業損失(△)	△819,056

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「菓子事業」セグメントにおいて、65,006千円、「食品事業」セグメントにおいて、2,041千円、報告セグメントに帰属しない全社資産において、10,501千円の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において77,547千円であります。